



QRコードから、
ぜひ印刷労連のHPも
ご覧ください。

連合印刷労連労働相談ダイヤル
03-5442-0191

全国各地の連合メーデーに各地方協議会が参加！

各地方協議会は中央メーデーをはじめ、各地域のメーデー（フェスティバル）に参加しました。今年は「格差をなくし、平和を守る！笑顔あふれる未来をつくろう すべての仲間の連帯で！」をスローガンに、働く人の祭典を盛り上げました。
 今回は、各地域で開催した模様をご紹介します。

メーデー中央大会（本部・関東南部地方協議会）

節目の第90回メーデー中央大会が4月27日（土）、代々木公園で開催されました。肌寒い曇り空にもかかわらず、参加者は連合発表で約3万7千人、印刷労連からは151名。昨年に続き会場中央のステージに参加者が取り囲みました。冒頭、神津連合会長より「団結の力をもってすれば、どんな困難も乗り越えられる」とのエールをいただき、続いて来賓の根本厚生労働大臣と小池東京都知事からのメッセージを頂きました。

恒例の関東南部地協の青年委員会による模擬店は、焼きそばや缶ビールを待つ長蛇の列で、あつという間の「完売御礼」に。「秘伝ミソだれホルモン焼きそば」は、もはや中央メーデー名物でリピーターもちらほら。売上金全額は北海道胆振東部地震被災地への義捐金とします。



全道メーデー（北海道地方協議会）

連合北海道は4月27日（土）10時より、札幌市中央区の大通公園8丁目広場にて第90回全道メーデーを開催しました。今回は、メーデーの起源に立ち返り、連合がめざす「働くことを軸とする安心社会」の根幹である民主主義を取り戻すメーデーとし、すべての被災地、特に昨年9月の北海道胆振東部地震の被災地と連携し、震災を風化させず、復興・再生に資するメーデーとして開催されました。

会場式典には、団体5,000人、印刷労連からも14名が参加し、集会で提案された長時間労働撲滅・労働法阻止等の決議案については、満場一致で確認されました。また、集会後のデモ行進では、強冷雨が吹きつける厳しい状況でしたが、雨風に負けずのおもいで連合北海道の取り組みをアピールいたしました。



メーデー宮城県大会（宮城地方協議会）

4月27日（土）に仙台市錦町公園で第90回メーデー宮城県大会を開催。あいにくの天気の中36団体の約2,200人が参加し、「格差是正」「被災地の復興・再生」「働くことを軸とする安心社会の実現」などを訴えました。

印刷労連からは、凸版印刷労組・野崎印刷紙業労組・フォームズユニオンから合計20名が参加。産別労組の仲間と共に、メーデー宣言を満場の拍手で採択しました。

式典終了後、宮城地協の交流イベントとして、プロ野球「楽天 VS ロッテ」を観戦。雨天での試合でしたが、多くの組合員とご家族に参加いただき大いに盛り上がりました。



埼玉県中央メーデー（関東北部地方協議会）

4月27日（土）に埼玉県さいたま市（大宮）鐘塚公園において、第90回埼玉県中央メーデーが開催され印刷労連北部地協からは120名が参加いたしました。

式典開催前には、ダンスチーム『笑舞』により華やかなダンスが披露され、場を和ました中でメーデー式典が始まりました。式典では近藤会長から「格差をなくし、平和を守る笑顔あふれる未来をつくろう すべての仲間の連帯で」のスローガンのもと挨拶があり、合わせて統一地方選挙の御礼がありました。来賓からは上田埼玉県知事、清水さいたま市長、立憲民主党・枝野幸男議員、国民民主党・大島敦議員からそれぞれ挨拶がありました。

式典終了後には、今回のメーデーは第90回目の節目でもあり、「メーデーの原点を振り返る」として連合埼玉ではデモ行進を実施することと、関東北部地協からもデモ行進に参加し、メーデー参加者のみならず広く県民に対して「働くことを軸とする安心社会」の実現と、連合埼玉の認知度の向上に向けアピールしてきました。



連合茨城水戸地域メーデー（関東北部地方協議会）

4月21日（日）に茨城県水戸市千波湖ハナミズキ広場において、第90回水戸地域メーデーが開催され印刷労連北部地協からは9名が参加いたしました。茨城県内のメーデー参加としては16年ぶりとなり、懐かしい面々との再会等もあり、実に楽しい時間を過ごすことが出来ました。

茨城県水戸市出身のお笑い芸人「すいたんすいこう」のMCによる毎年恒例イベントの納豆早食い競争にも当メンバーから1名が参加し決勝戦まで勝ち進み、惜しくも準優勝となりましたが、大変な盛り上がりを見せました。これからも連合茨城の諸行動に印刷労連の旗を掲げて、出来る範囲での参加をしていきたいと思っております。



2019 三多摩メーデー（関東南部地方協議会）

2019連合三多摩メーデーが4月27日（土）立川市民運動場で開催されました。

小雨がちらつく寒空の下、連合の組合員とその家族をはじめ、行政や各級議員など、総勢約17,000名が参加しました。労働運動の原点は職場にあり。2019春季生活闘争、第19回統一地方選挙と、「働く者を軸とした安心社会の実現」に向けて取り組みを継続している。特に三多摩独自の運動として、労働組合の枠を超えた、子どもを守るネットワークの活動については、地域に根付いた運動の大切さを実感していると連合三多摩ブロック地協議長より挨拶がありました。

第2部のイベントではシンガーソングライター「SIO」によるライブと、お笑い芸人「U字工事」によるお笑いライブが行われ、会場を沸かせました。

続いて恒例となった第3部の大抽選会も盛り上がり、無事閉会しました。



相模原地域メーデー（関東南部地方協議会）

4月27日（土）小田急相模大野駅近くの相模大野中央公園において「第90回相模原地域メーデー」が開催されました。全体では約2,000人が集まり、印刷労連からは5名が参加しました。

今年のメーデーのメインスローガンは「すべての働く仲間の連帯で格差をなくし、平和を守り、笑顔あふれる未来をつくろう！」とし、安心社会を実現するため、本メーデーを契機に、県内に働くすべての者が結集し、職場・地域から行動することを確認しています。福祉部門担当としては「フードドライブ」（缶詰等の回収）を実施し沢山の方からご協力をいただきました。また式典後は家族向けのヒーローショーや抽選会なども開催され、大変盛り上がりしました。



連合静岡沼津三田地協ファミリーメーデー（関東南部地方協議会）

連合静岡は、各地域協議会でメーデーを開催しており、4月27日（土）に「沼津三田地協協議会第11回ファミリーメーデー」を沼津プラザヴェルデにて盛大に開催しました。

印刷労連から図書印刷労組が対応し10名が参加、総勢およそ2,400名が集結しました。第一部は式典、第二部では、お子さんを対象にクイズ大会や模擬店やバザーなどを実施しました。また、今年は、沼津三田地協結成10周年を記念し、中国雑技団によるパフォーマンス、そして、最後に大抽選会が行われ大いに盛り上がり終了しました。当日はあいにくの雨模様でしたが、室内開催だったこともあり、無事開催することが出来ました。



長野県中央メーデー・上小地区メーデー（長野地方協議会）

4月27日（土）に長野市城山公園（善光寺東隣）で第90回長野県中央メーデーが開催されました。あいにくの曇り空で時折小雨がぱらつき非常に寒い日でしたが、主催者発表で約3,500人が参加し、印刷労連からは118人が参加しました。また、地域では上田市城跡公園において第90回上小地区メーデーが開催され、田口印刷労組8名が参加しました。

働く者の連携で、「ゆとり・豊かさ・公正な社会」を実現し、自由で平和な世界を作ろう！をスローガンに、会場では被災地応援ブースが設けられ、被災地へのカンパとフードドライブ（缶詰の回収）が行われました。開会宣言後、主催者代表である中山連合長野会長は「働き方改革を進める上では、労使協議で職場の実態を踏まえた働き方の見直しで生産性を向上していくことが重要。米中の貿易戦争は懸念材料だが引き続き賃上げに向けて戦い抜こう」とまだ春闘半ばである地元の情勢に呼び掛けをしました。その後長野県知事を始めとする来賓の挨拶が終わり、毎年恒例の抽選会が行われ大いに盛り上がりしました。メーデー宣言の提案と採択がされ、団結がんばろうで締められた後長野駅方面へ晴れ間が見えた善光寺参道をデモ行進しました。



石川県統一メーデー金沢中央大会（石川地方協議会）

第90回統一メーデー金沢中央大会は、4月27日（土）寒気が上空を覆う中、金沢市のいしかわ四高記念公園で2,500名が参加し開催されました。冒頭の挨拶で連合石川西田会長が4月に施行された働き方改革関連法について「長年、連合が主張してきた働き方改革が認められたことは大いに評価している」と述べた一方で、高度プロフェッショナル制度については、「長時間労働是正の流れに逆行するもので、是正もしくは撤廃すべきだ」と訴えました。更に「働く者が主役でなければならない。誰もが希望を持って働き、互いに支え合える持続可能な社会にしていく改革にしなければ」と強調し、労働環境の改善へ結束を呼び掛けました。

その後、来賓の谷本知事・山野市長の祝辞に続き、夏の参議院議員石川県選挙区に出馬予定の連合石川が推薦する田辺徹氏の挨拶後、長時間労働の撲滅、参議院選挙での勝利に向けた活動の強化を盛り込んだ宣言を採択。最後にガンバロー三唱を行い、集会後、市街地においてデモ行進を行いました。



愛知県中央メーデー・名古屋地協メーデーフェスティバル（愛知地方協議会）

4月27日（土）、久屋大通公園エンゼル広場において、第90回愛知県中央メーデー&2019名古屋地協メーデーフェスティバルがオープニング～式典～メーデーフェスティバルの順に開催され約3,000人の参加者で賑わいました。

また好天にも恵まれ家族向けのイベントも盛り上がり、運営側も街宣活動を行いフェスティバルへの参加を呼びかけました。印刷労連としても地協構成組織から多数参加頂きました。



京都中央メーデー（京滋地方協議会）

第90回京都中央メーデーが4月28日（日）に梅小路公園にて開催されました。当日は天候にも恵まれ、印刷労連からは2労組の組合員とその家族約60名が参加しました。全体としては約1万5千名の参加のもと「めざそう！笑顔あふれる安心社会の実現を！」をメインテーマに式典が行われ、長時間労働の是正や賃金引き上げなどの実現を目指す「メーデー宣言」が採択され、ガンバロー三唱で締めくくられました。

また、夏の参議院選挙に向けては候補者一本化により幅広い支援を求める訴えもありました。最後は、毎年恒例のお楽しみ大抽選会で大いに盛り上がりました。



連合滋賀第4地協メーデー（京滋地方協議会）

第90回滋賀県労働者統一メーデーが4月27日（土）に県下4会場で開催され、「格差をなくし、平和を守る！笑顔あふれる未来をつくろう すべての仲間の連帯で！」をメインスローガンに約2,000人が参加しました。その中で印刷労連としては竜王町ドラゴンハットで開催の4区地域のメーデー集会に参加し、ご家族含め約40名の参加を頂きました。

当日は肌寒さを感じる天候でしたが、式典においてはメーデー宣言・地域アピールが採択され、また会場内では模擬店をはじめ体験型イベントやスポーツ型イベントを開催し、更に毎年恒例の大抽選会で大変盛り上がり充実したメーデーとなりました。最後に、滋賀県労働者福祉協議会の三添会長から『ガンバロー三唱』を参加者全員で行い、心を一つに締めくくられました。



大阪地方メーデー（大阪地方協議会）

第90回大阪地方メーデーが4月27日（土）に、大阪城公園・太陽の広場にて「格差をなくし、平和を守る！笑顔あふれる未来をつくろう すべての仲間の連帯で！」のメーデースローガンのもと、当日は35,000人の組合員とその家族の参加により開催されました。（大阪地協からは7組織約70名の参加）

主催者代表あいさつでは、連合大阪会長である山崎弦一会長から連合大阪としてすべての労働者、生活者の「クラシノソコアゲ」につながる運動を先頭に立って行動を起こしていくと力強い決意がありました。

オープニングセレモニーでは昨年に引き続き、各産別の代表者が自組織の組合旗とともに舞台登壇をすることになり、印刷労連からは石山議長が登壇し、印刷労連旗を空高らかに掲げました。



福岡メーデー（福岡地方協議会）

4月27日（土）に福岡市にある舞鶴公園「鴻臚館広場」にて第90回福岡メーデーが開催されました。スローガンは『格差をなくし、平和を守る！笑顔あふれる未来をつくろう すべての仲間帯で！』というものです。約6,000人が集まり、印刷労連からは組合員とご家族の方を含め約30名が参加いたしました。オープニングアトラクションから始まり、メーデー式典が催されました。

今年のメーデーは第1部で「式典」、第2部で「メーデーフェスティバル」という2部構成で開催され、天候にも恵まれ、大変盛り上がりしました。



メーデー熊本県中央祭典（熊本地方協議会）

4月27日（土）に『第90回メーデー熊本県中央祭典』を、熊本市グランメッセ熊本にて開催されました。

第90回の節目であり、連合結成30年を迎える年であることから、県下の6つの地域協議会が参加する記念すべきメーデーとなり、各産別の組合員とその家族、総勢約4,000名程が集う壮大な祭典となりました。

冒頭、連合熊本友田会長の宣言のもと、全ての働く者の「底上げ・底支え」「格差是正」を実現し、すべての働く仲間との連帯により力を合わせて、諸課題解決に向けて全力で取り組むことを確認しました。

印刷労連熊本地協としても、地協幹事を中心に8名で集会への参加となり、構成組織内はもちろんの事、他産別の組合員との交流も図り、継続的かつ幅広い運動を展開していく事を参加者全員で確認し、更なる団結を誓い合いました。



2019年6月1日より、たすけあいの輪をむすぶ「こくみん共済coop」スタート！

全労済は、さらに「たすけあいの輪」を広げ、より多くの方に生活の安心をお届けするため、
新しい姿を表す愛称を「こくみん共済coop」といたしました。

「こくみん みんなのために、共済というたすけあいの仕組みを提供する協同組合(coop)である」を表現し、
協力団体の皆さまと培ってきた**労働者自主福祉による事業と運動をさらに強化・発展させ、**
組合員の生活を支えていきます。

そして、その取り組みを**生活者へも広く展開**していきます。



こくみん共済 coop 公式キャラクター ビットくんファミリー

全国労働者共済生活協同組合連合会

— 2019年6月、全労済から「こくみん共済 coop」へ —

たすけあいの輪をむすぶ「こくみん共済 coop」スタート!

こくみん共済 coopは、
「共済」を通じて人と人との「たすけあいの輪」をむすび、
「安心のネットワーク」を広げていきます。

こくみん共済
全国労働者共済生活協同組合連合会

らうきん らうきんのキャッシュカードなら **便利でおトク**

コンビニATMの引出し手数料 0円!

お引出し手数料が無料のATM

セブン銀行 | ローソン銀行 | FamilyMart
イオン銀行 | ゆうちょ銀行

さらに 全国のMICS加盟店(提携・提携店舗)で使えて
ATMお引出し手数料を **即時キャッシュバック!**

2019年4月18日現在

**働くを支える
暮らしに備える
生活を豊かに**

☆印刷労連
☆こくみん共済coop
☆労働金庫

— 編集後記 —

元号が「平成」から「令和」へ変わりました。万葉集「梅花の歌」の中の「初春の令月にして、気淑（よ）く風和ぎ、梅は鏡前の粉（こ）を披（ひら）き、蘭は珮後（はいご）の香を薫（か）をらす。【現代語訳＝初春のよい月で、大気もよく風も穏やかになり、梅の花は鏡の前（に座る美女たちが化粧に使う）白い粉のように（白く）開き、蘭は（身にまとう）装飾品の香りのように薫っている。】から用いたとされています。首相官邸での首相談話の中で改元に対する想いを

「春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように一人ひとりが明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる、そうした日本でありたいとの願いを込め、決定した。」としております。

平成を振り返り、新しい令和に想いを込め、新時代の転換に在る日本がどのような道を歩むのか。国民はもとより、労働界からもその行く末を見据えなければなりません。

教育・広報委員会 大塚 新二